



「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」が少し増加傾向です。また、佐賀県では保育所で「感染性胃腸炎」の集団発生も起こっています。どちらの感染症も人から人へ二次感染を起こしやすく、集団生活の場では特に注意が必要です。丁寧な手洗いは感染予防の基本です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事の前など、こまめに手を洗いましょう。

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

発熱・のどの痛み・イチゴのような舌(写真参照)が主な症状です。早めに治療を受けましょう。

◆どんな病気？

赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

- ・症状………突然の発熱とだるさ、のどの痛みで発症し、イチゴのような舌が特徴です。嘔吐を伴うこともあります。「猩紅熱」の場合、点状紅斑様、日焼け様の皮疹が全身に広がります。合併症には、リウマチ熱や糸球体腎炎などがあります。
- ・潜伏期間…2~5日
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、細菌が付いた手を介する接触感染です。主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭や学校での感染も多いです。兄弟間の感染率は25%とも言われます。
- ・流行期……冬季、および春~初夏に流行ピークがあります。



国立感染症研究所感染症情報センター「感染症の話」より抜粋

◆かかったらどうすればいいの？

- ・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲みましょう。
- ・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

◆予防法は？

- ・症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。手洗い、うがいもしっかり行いましょう。

期 間		2020年 40週		2020年 41週	
		9/28~10/4		10/5~10/11 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	0	0.00	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	3	0.19	12	0.75
感染性胃腸炎	➡	21	1.31	21	1.31
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	4	0.25
手足口病	➡	2	0.13	6	0.38
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	13	0.81	9	0.56
ヘルパンギーナ	➡	1	0.06	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	4	0.25	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	6	1.20	4	0.80
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00